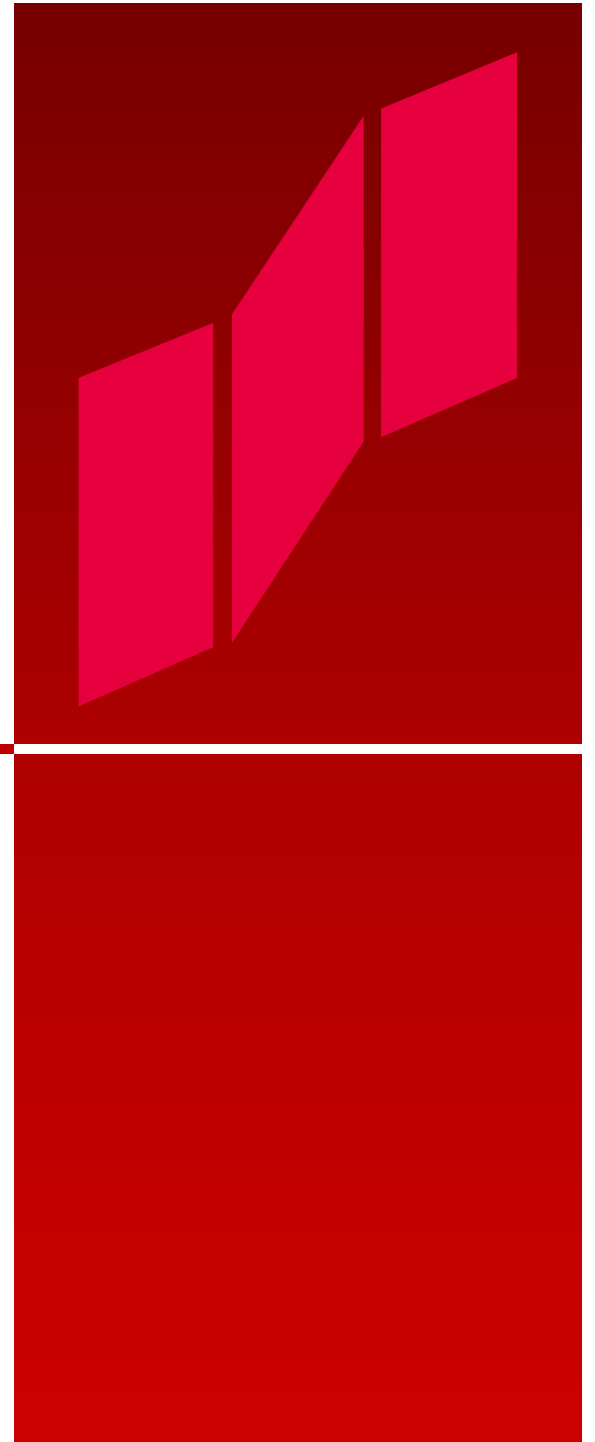


2018年3月期 第3四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2018年1月30日



[参考資料]

2018年3月期 第3四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	19
純営業収益・商品販売の状況	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	20
業績の四半期推移	4	営業指標-1	21
株式委託手数料	5	営業指標-2	22
投信募集・ファンドラップ・代行手数料	6	営業指標-3	23
トレーディング損益	7		
引受関連手数料 (株式・債券)	8		
M&A	9		
三井住友銀行との連携について	10		
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について	11		
販売費・一般管理費	12		
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	13		
預り資産残高・資産導入額	14		
海外拠点の業績推移	15		
海外ネットワーク	16		
トピックス	17		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2018年1月30日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

※ 当該資料には、旧SMBCフレンド証券の決算数値は含まれておりません。

2018年3月期 第3四半期決算サマリー



2018年3月期

- 純営業収益2,625億円(前年同期比+16%) 経常利益724億円(同+49%) 当期純利益(*1)495億円(同+88%)
期を通じた国内外の株高進行を背景に株式関連収益他が伸長し、増収増益
- 株式委託売買代金は23.9兆円(同+22%)
商品販売額合計は7.5兆円(同+2%)
外債販売額2.2兆円(同+13%)、投信販売額1.8兆円(同+4%)、ファンドラップ販売額3,449億円(同+33%)
- 引受手数料は226億円(同-13%)
2017年度リーグテーブルは、グローバル株式・ブックランナー5位(*2)、円債総合・主幹事4位(*3)、M&A公表案件取引金額ベース5位、案件数ベース1位(*4)
- 販売費・一般管理費は1,930億円(同+7%)
- 2017年12月末の総資産11.3兆円、純資産5,884億円
自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は325%と安定した財務基盤を維持

2018年3月期
第3四半期

- 純営業収益976億円(前四半期比+18%) 経常利益305億円(同+46%) 当期純利益(*1)206億円(同+44%)
- 商品販売額合計は2.7兆円(同+14%)
国内債販売額は9,917億円(同+28%)、投信販売額は6,613億円(同+17%)

経営成績 (単位: 億円)	18/3期		前四半期比 増減率	17/3期 3Q累計	18/3期 3Q累計	前年同期比 増減率
	2Q	3Q				
営業収益	915	1,097	+20%	2,503	2,928	+17%
純営業収益	827	976	+18%	2,271	2,625	+16%
販売費・一般管理費	624	682	+9%	1,811	1,930	+7%
経常利益	209	305	+46%	486	724	+49%
税金等調整前当期純利益	204	295	+45%	372	706	+90%
当期純利益(*1)	143	206	+44%	263	495	+88%
財政状態	2017年 3月末	2017年 12月末	前期末比 増減額	2016年 12月末	2017年 12月末	前年同期末比 増減額
総資産	11.6兆円	11.3兆円	-0.3兆円	10.7兆円	11.3兆円	+0.5兆円
純資産	5,442億円	5,884億円	+442億円	5,206億円	5,884億円	+678億円

(*1) 当社株主に帰属する当期純利益

(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

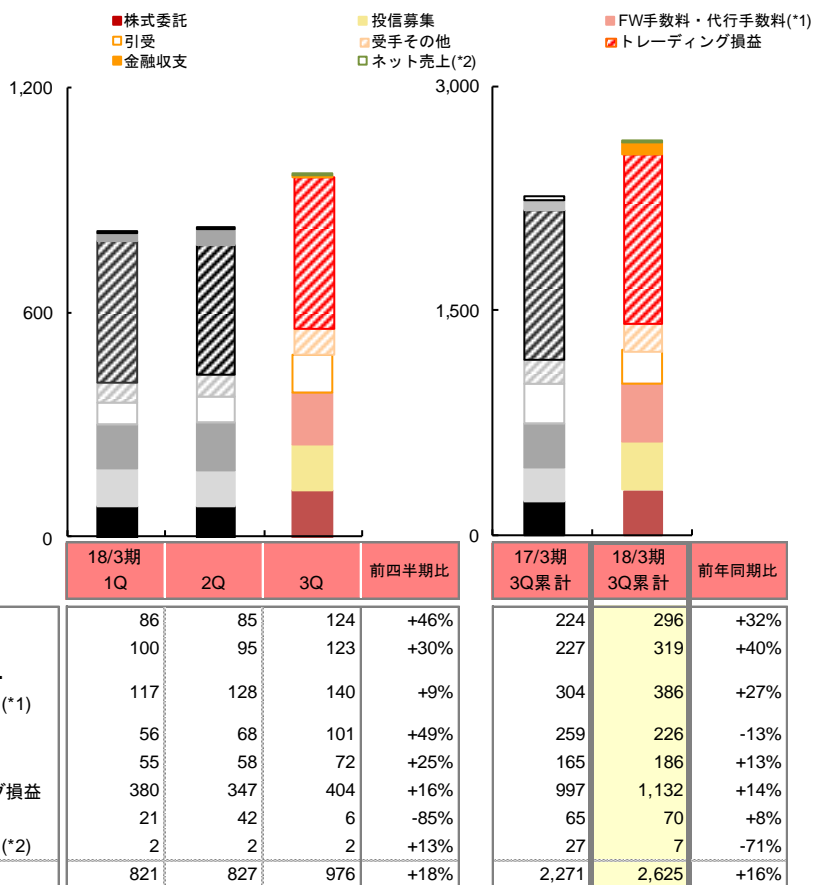
(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*4) 出所: THOMSON REUTERS 日本企業関連M&A公表案件

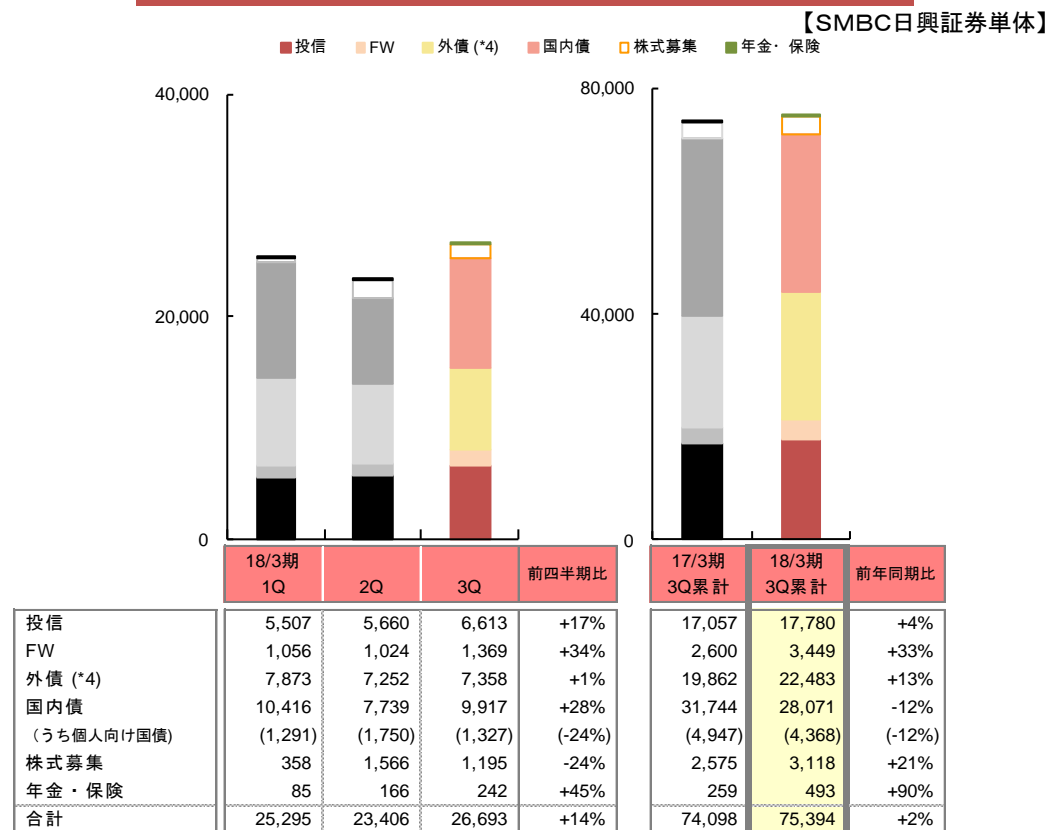
純営業収益・商品販売の状況

- ◇ 第3四半期の純営業収益は976億円(前四半期比+18%)、商品販売額合計は2兆6,693億円(同+14%)
相場活況に伴い、株式委託手数料や投信募集手数料、株券等トレーディング損益が収益を牽引
- ◇ 通期の純営業収益は2,625億円(前年同期比+16%)、商品販売額合計は7兆5,394億円(同+2%)
純営業収益は期初から前年同期比で増収傾向が継続

純営業収益 推移(億円)



商品販売額 推移(億円)(*3)



(*1) 2018年3月期第1四半期より、ファンドラップ手数料を受手その他からFW手数料・代行手数料へ組み替えて表示(2017年3月期も遡りして変更)。また、代行手数料はカストディーフィーを含む

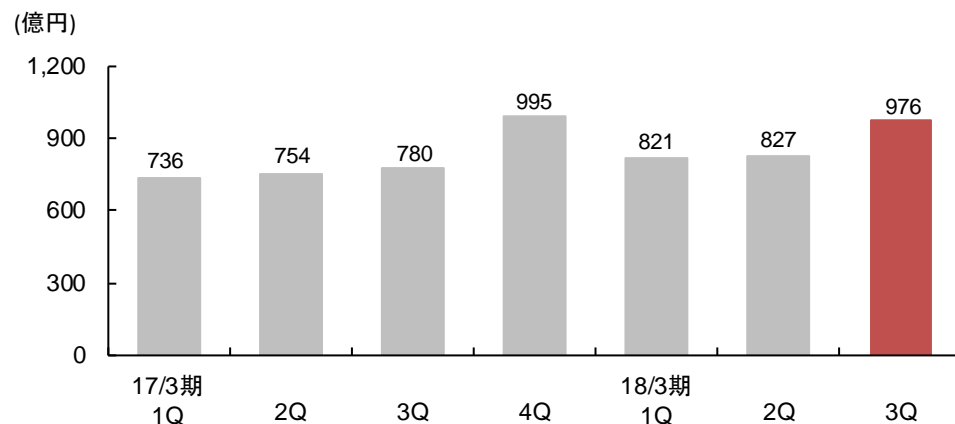
(*2) 売上高-売上原価

(*3) 2018年3月期第1四半期より、ファンドラップ販売額を商品販売額へ含めて集計

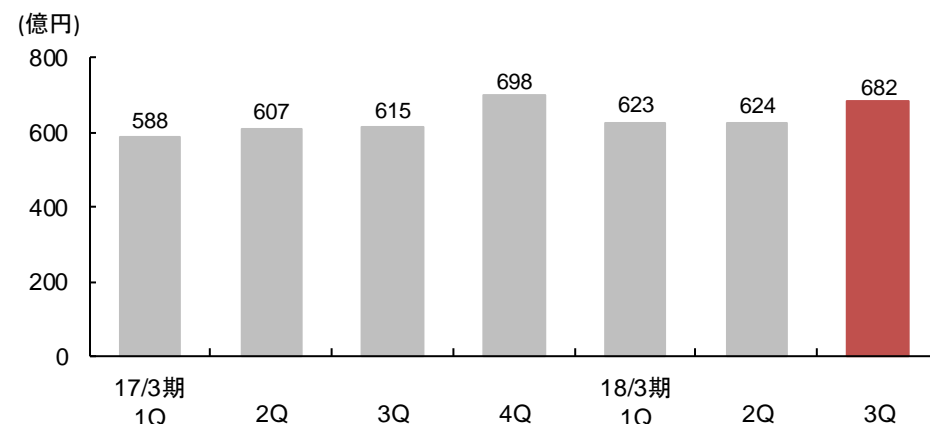
(*4) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む

業績の四半期推移

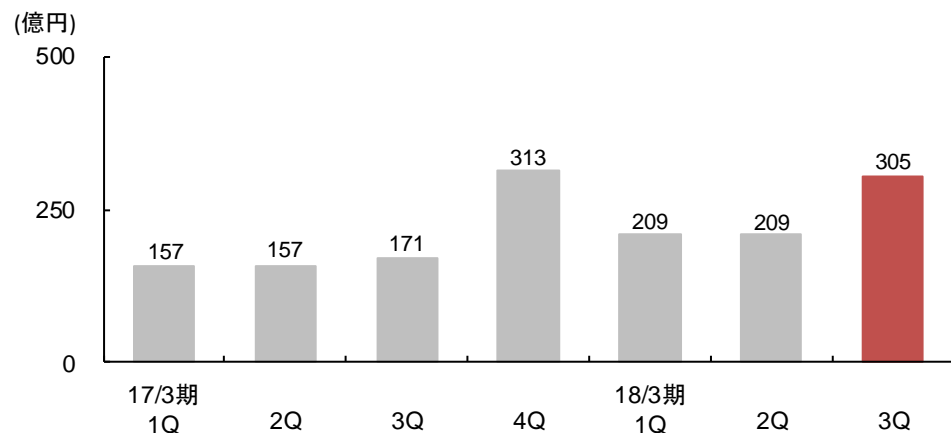
純営業収益



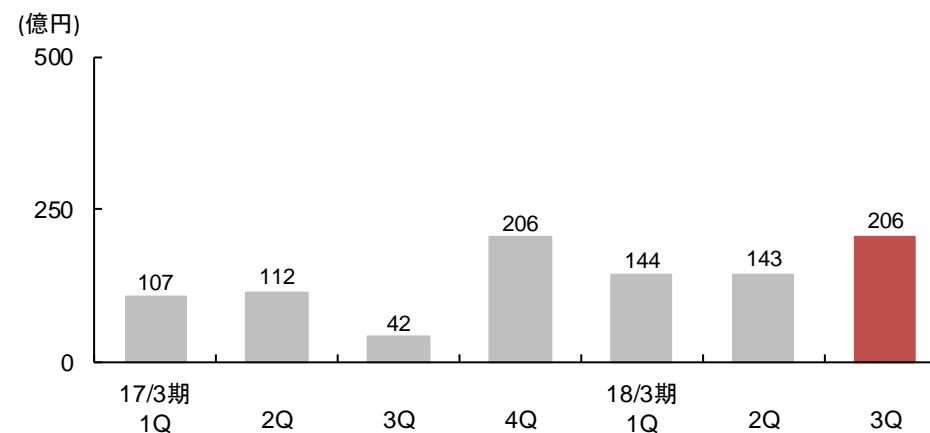
販売費・一般管理費



経常利益



当期純利益(*)

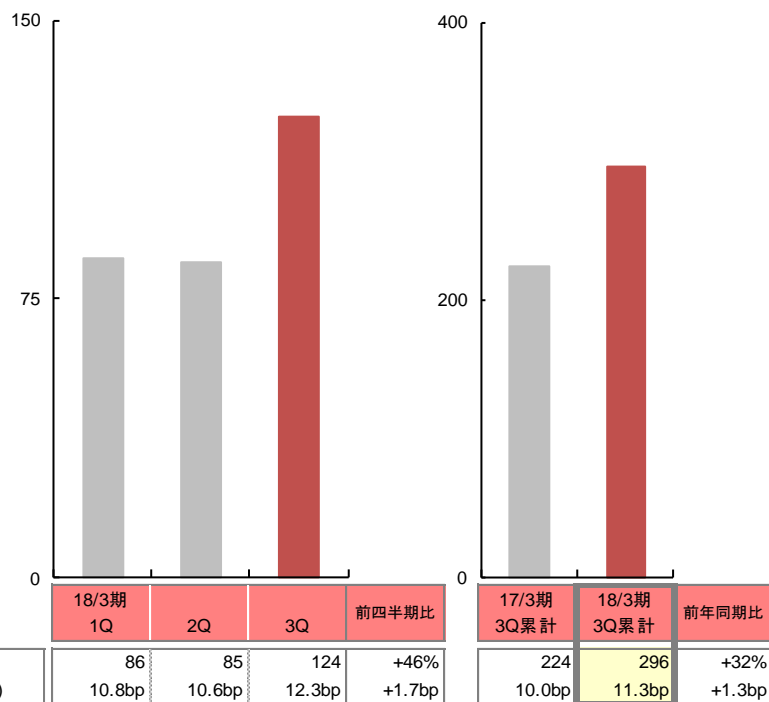


(*) 当社株主に帰属する当期純利益

株式委託手数料

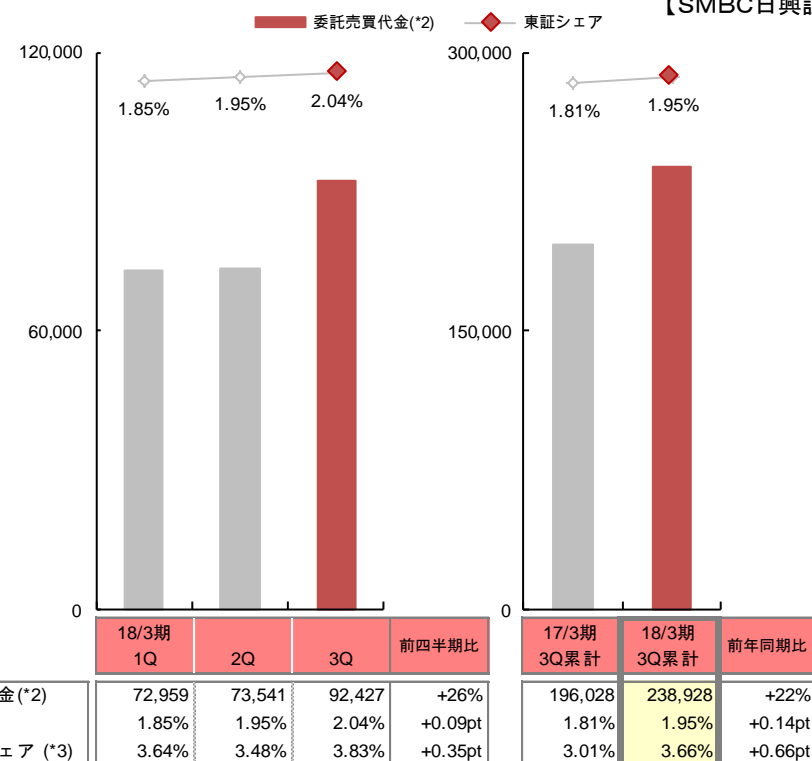
- ◇ 第3四半期の株式委託売買代金は9兆2,427億円(前四半期比+26%)、株式委託手数料は124億円(同+46%)
個人のお客様を中心に取引が増加し、個人委託シェア・東証シェアは共に拡大
- ◇ 通期の株式委託売買代金は23兆8,928億円(前年同期比+22%)、株式委託手数料は296億円(同+32%)

株式委託手数料 推移(億円)



株式委託売買代金・東証シェア 推移(億円、%)

【SMBC日興証券単体】



(*1) 調整後株式委託手数料÷株式委託売買代金(集計対象:現物及び信用取引)

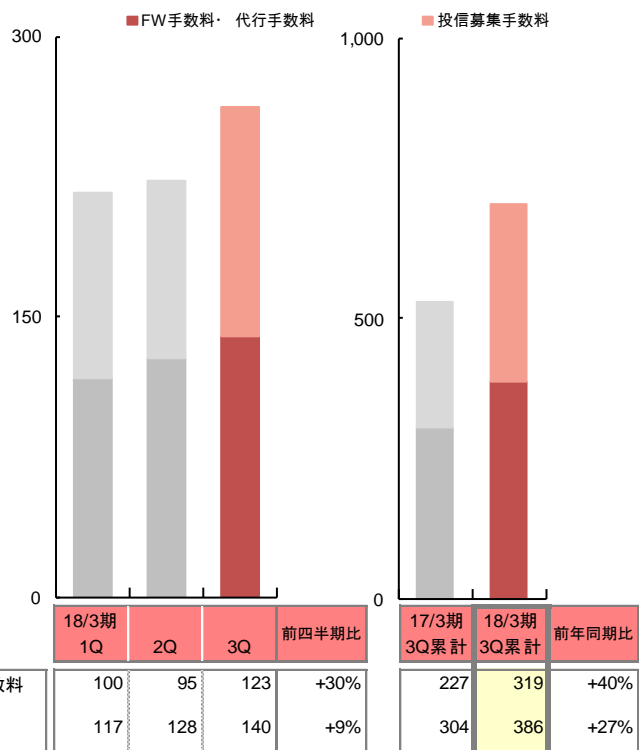
(*2) 集計対象は全市場

(*3) 集計対象は東証・名証の一部・二部等

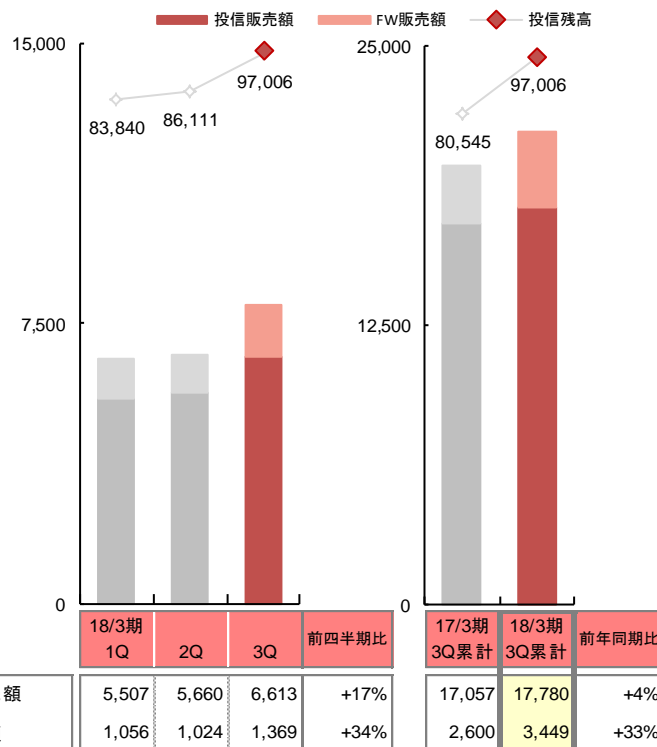
投信募集・ファンドラップ・代行手数料

- ◇ 第3四半期の投信販売額は6,613億円(前四半期比+17%)、投信募集手数料は123億円(同+30%)
前四半期と比較すると株式投信の販売が増加し、募集手数料が増加
- ◇ 通期の投信販売額は1兆7,780億円(前年同期比+4%)、投信募集手数料は319億円(同+40%)
ファンドラップを含む投信残高は9兆7,006億円(同+13%)、ファンドラップ手数料・代行手数料は386億円(同+27%)

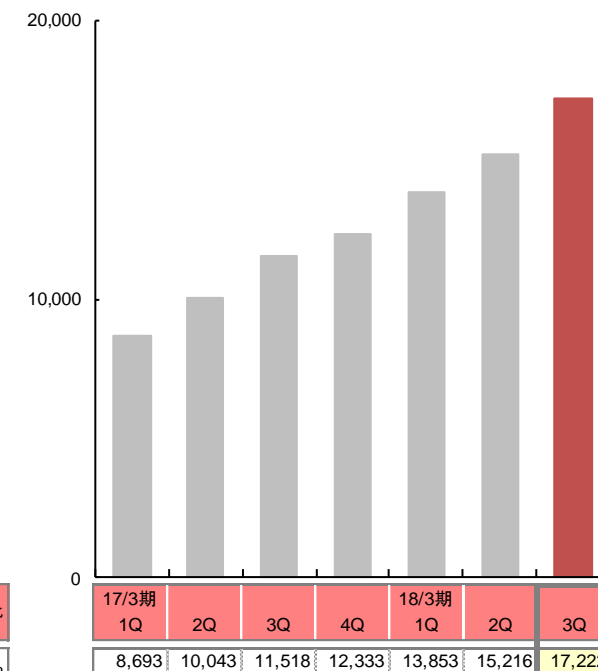
投信募集手数料等 推移(億円)^{(*)1}



投信販売額/投信残高 推移(億円)



ファンドラップ残高 推移(億円)^{(*)2}



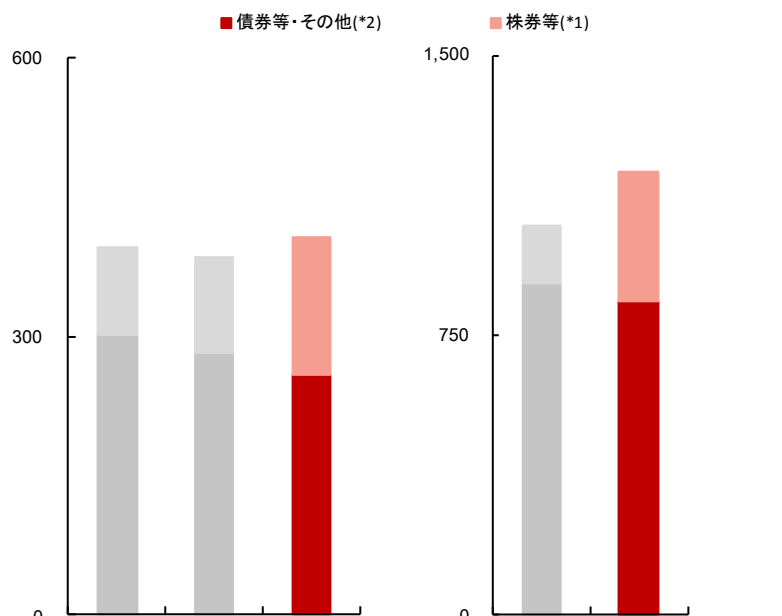
(*)1 2018年3月期第1四半期よりファンドラップ手数料を含めて表示。代行手数料はカस्टディーフィーを含む

(*)2 ファンドラップ残高は当社における預り残高を集計

トレーディング損益

- ◇ 第3四半期のトレーディング損益(金融収支調整後)は406億円(前四半期比+5%)。
株高を背景として株券等トレーディング損益が増加。外債販売額は7,358億円(同+1%)と高水準を維持
- ◇ 通期のトレーディング損益(金融収支調整後)は1,189億円(前年同期比+14%)

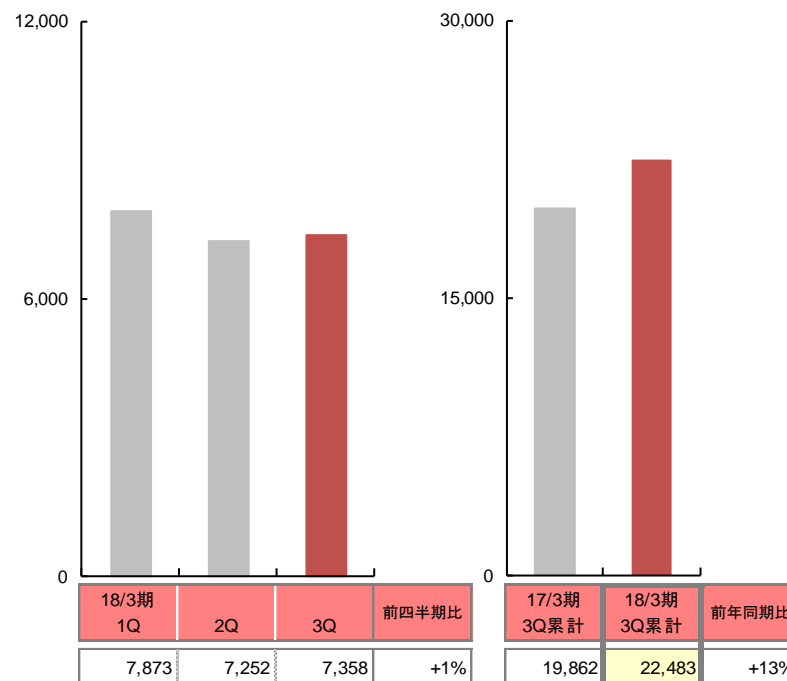
トレーディング損益(金融収支調整後) 推移(億円)



	18/3期 1Q	2Q	3Q	前四半期比	17/3期 3Q累計	18/3期 3Q累計	前年同期比
株券等(*1)	95	103	148	+43%	157	347	2.2倍
(うち配当等)	(9)	(47)	(13)	(-72%)	(55)	(70)	(+28%)
債券等・その他(*2)	301	283	258	-9%	887	842	-5%
(うち利子)	(6)	(-8)	(-11)	(-)	(-7)	(-13)	(-)
合計(*3)	396	386	406	+5%	1,044	1,189	+14%

外債販売額 推移(億円)

【SMBC日興証券単体】



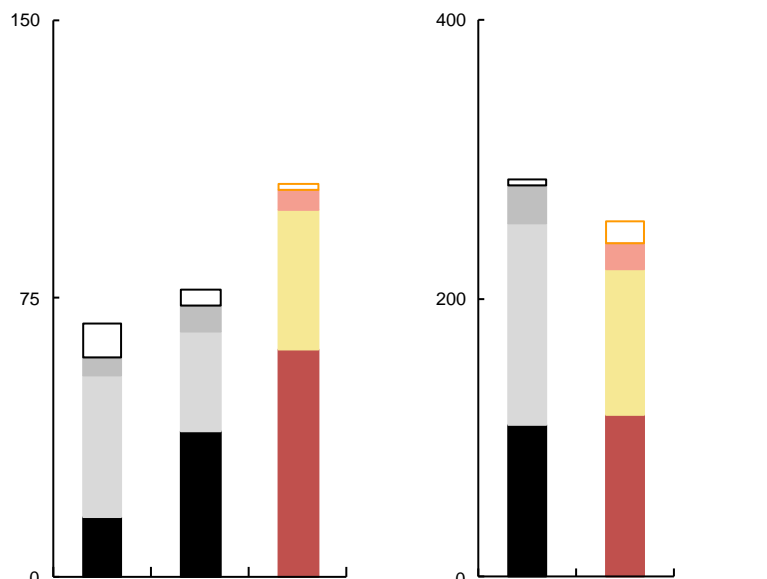
・配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示
 (*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)
 (*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む
 (*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない

引受関連手数料 (株式・債券)

- ◇ 第3四半期の引受手数料は101億円(前四半期比+49%)
- ◇ 2017年度 グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナーは5位(シェア8.6%)、新規公開株式引受は案件数ベース(主幹事)4位・引受金額ベース4位、円債総合-主幹事は4位(シェア16.9%)

引受関連手数料(株式・債券) 推移(億円)

■ 株式 ■ 債券 ■ 募集手数料(株式・債券) □ その他引受関連手数料(*)



	18/3期 1Q	2Q	3Q	前四半期比
引受手数料	56	68	101	+49%
株式	16	39	61	+58%
債券	38	27	38	+41%
募集手数料(株式・債券)	5	7	5	-20%
その他引受関連手数料(*)	9	4	2	-33%

	17/3期 3Q累計	18/3期 3Q累計	前年同期比
引受手数料	259	226	-13%
株式	109	117	+7%
債券	145	104	-28%
募集手数料(株式・債券)	27	18	-32%
その他引受関連手数料(*)	5	16	3.1倍

グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー(*2) 2017年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	野村	9,203	24.6%
2	大和	7,237	19.3%
3	三菱UFJモルガン・スタンレー	5,445	14.6%
4	みずほ	5,205	13.9%
5	SMBC日興	3,212	8.6%

新規公開株式引受(*3) 2017年度

【案件数ベース】			【引受金額ベース(単位:億円)】		
順位	主幹事	件数	順位	引受金額	金額
1	野村	16	1	野村	958
2	大和証券グループ本社	12	2	大和証券グループ本社	938
2	みずほFG	12	3	モルガン・スタンレー	706
4	三井住友FG	10	4	三井住友FG	499
5	SBIホールディングス	5	5	みずほFG	438

円債総合-主幹事(*4) 2017年度

【SMBC日興証券単体】					
順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)		
1	三菱UFJモルガン・スタンレー	31,820	21.1%		
2	みずほ	30,607	20.3%		
3	野村	27,343	18.1%		
4	SMBC日興	25,524	16.9%		
5	大和	24,367	16.2%		

(*1) 流動化アレンジメントにかかわる収益を含む

(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*4) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

◇ 2017年度 M&Aリーグテーブルは153件を獲得し、取引金額ベースで5位(占有率9.1%)、案件数ベースで1位(同5.6%)

ファイナンシャル・アドバイザー 取引金額ベース 2017年度

順位	アドバイザー	取引金額 (億円)	占有率 (%)
1	野村	39,126	31.4%
2	モルガン・スタンレー	31,163	25.0%
3	ゴールドマン・サックス	27,185	21.8%
4	クレディ・スイス	26,527	21.3%
5	三井住友フィナンシャルグループ	11,308	9.1%

ファイナンシャル・アドバイザー 案件数ベース 2017年度

順位	アドバイザー	案件数	占有率 (%)
1	三井住友フィナンシャルグループ	153	5.6%
2	みずほフィナンシャルグループ	151	5.5%
3	野村	76	2.8%
4	KPMG	40	1.5%
4	Kaede Group	40	1.5%

主なM&Aの公表案件 2017年度

HKEホールディングス合同会社 (Kohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.) / 日立国際電気

KKRが管理・運営を行う投資ファンドであるKKR HKE Investment L.P.が出資するHKEホールディングスは、日立製作所の子会社である日立国際電気の完全子会社化を目的とした公開買付けを実施
(当社はKKRのアドバイザー及びHKEホールディングスの公開買付代理人)

沢井製薬 / Upsher-Smith Laboratories

沢井製薬は、米国のジェネリック医薬品メーカーであるUpsher-Smith Laboratories, Inc.の全持分を、新たに設立した米国子会社を通じて取得することを決定
(当社は沢井製薬のアドバイザー)

トヨタ自動車 / マツダ

トヨタ自動車とマツダは、業務資本提携に関し合意。トヨタはマツダに対し自己株式の処分により株式を割り当て、マツダは新株を割り当て、相互に株式を取得
(当社はマツダのアドバイザー)

東海カーボン / SGL GE Holding GmbH(昭和電工)

昭和電工は、独SGL GE Holdingの米国事業を東海カーボンに譲渡
(当社とMoelisは昭和電工の協働アドバイザー)

ポラリス・キャピタル・グループ / エルビー (アサヒグループホールディングス)

アサヒグループホールディングスは、完全子会社であるエルビーの株式を、ポラリス・キャピタル・グループが運営するファンド等が設立するALPホールディングスに譲渡
(当社はアサヒグループホールディングスの単独アドバイザー)

Kao USA Inc.(花王) / Oribe Hair Care, LLC

花王は、米子会社花王USA Inc.を通じて、米のOribe Hair Careを買収
(当社とSMBC日興セキュリティーズ・アメリカは花王の単独アドバイザー)

三井住友銀行との連携について

◇ 個人のお客様の口座数、法人のお客様の紹介件数はともに拡大しており、銀証連携は引き続き順調に進展

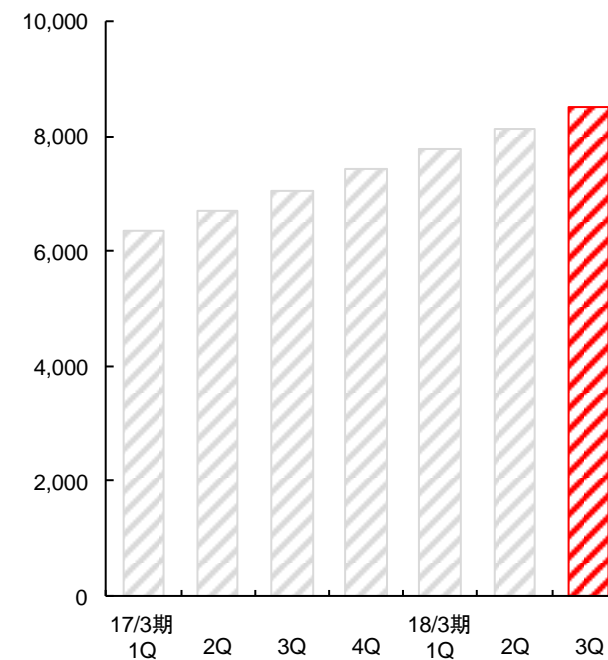
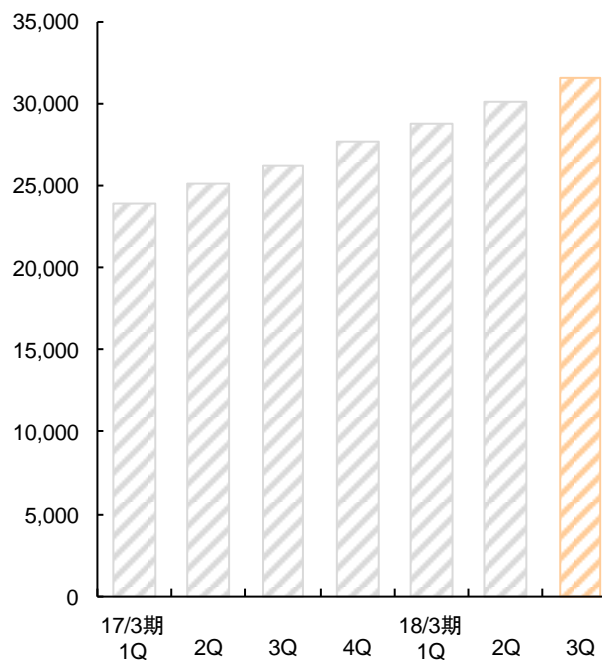
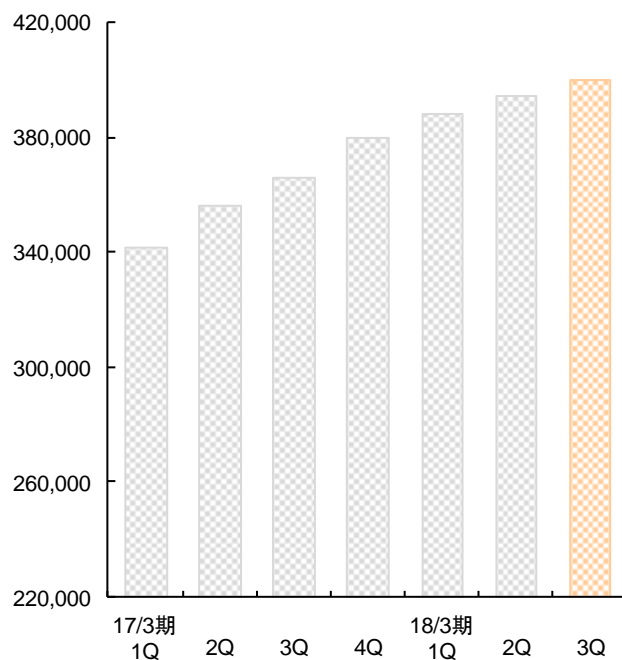
運用業務（お客様紹介業務・金融商品仲介業務^(*)）

投資銀行業務（お客様紹介業務）

個人のお客様（口座数）^{(*)2}

法人のお客様（累積件数）^{(*)3}

法人のお客様（累積件数）



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

(*) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務:当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

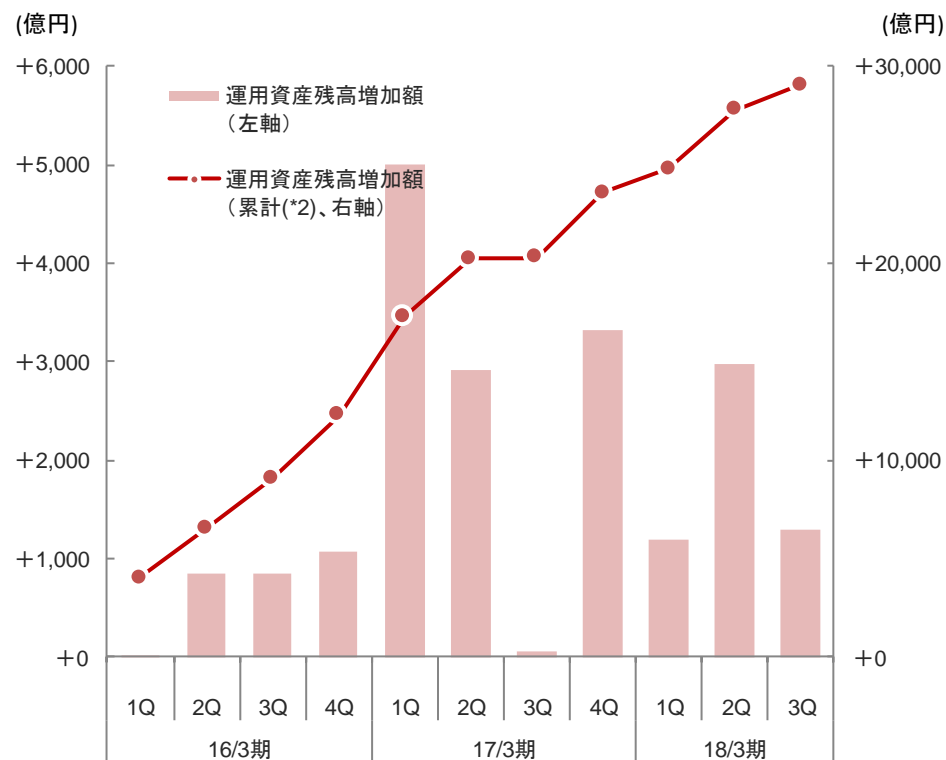
(*)2 SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の 各四半期末時点の口座数

(*)3 SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

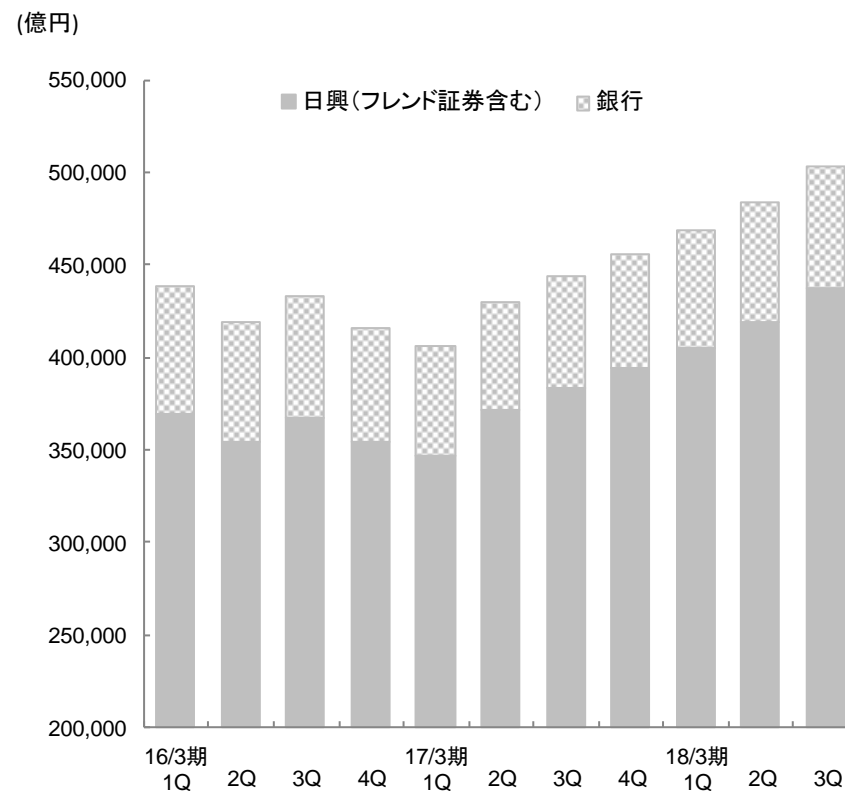
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について

◇ リテールにおける、銀証合算の運用資産残高は増加傾向

リテール銀証運用資産残高増減額 (*1)



リテール銀証運用資産残高 (*3)



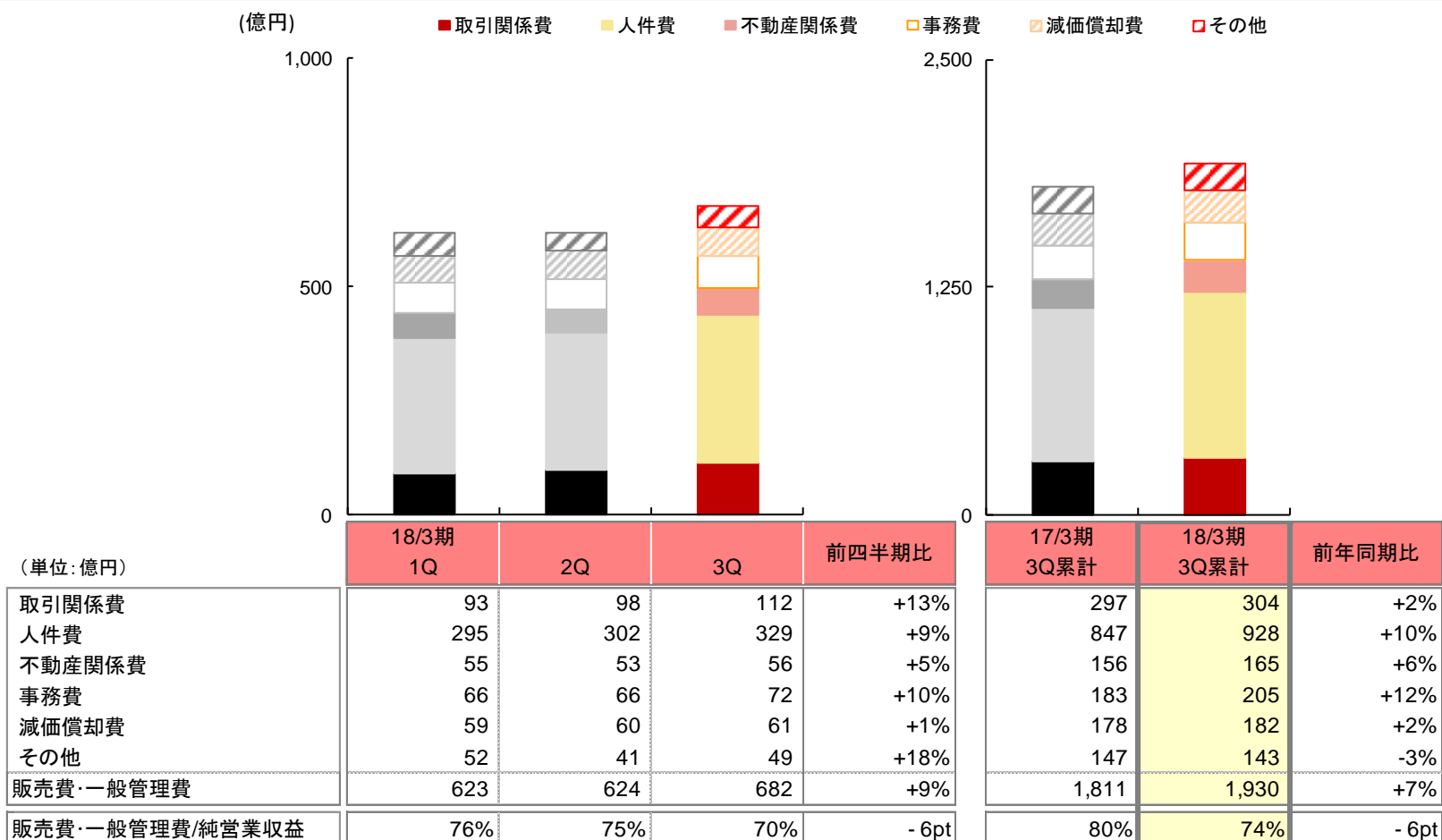
(*1) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人)の運用資産残高増減(資産導入額)の合計

(*2) 2014年3月期第1四半期からの累計値

(*3) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人以外含む)の運用資産残高(預り資産)の合計

販売費・一般管理費

- ◇ 第3四半期の販売費・一般管理費は682億円(前四半期比+9%)
- ◇ 通期の販売費・一般管理費は1,930億円(前年同期比+7%)。業績に連動する人件費を中心に増加



連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	17年3月末	17年12月末	前期末比増減
流動資産	114,291	110,800	-3,491
トレーディング商品	40,583	34,133	-6,449
有価証券担保貸付金	52,331	54,325	+1,994
その他	21,376	22,340	+964
固定資産	2,583	2,674	+91
有形固定資産	253	251	-2
無形固定資産	784	748	-36
投資等その他の資産	1,544	1,674	+130
資産合計	116,874	113,475	-3,399
流動負債	103,549	100,423	-3,125
トレーディング商品	25,715	25,130	-584
有価証券担保借入金	54,441	54,567	+125
短期借入金/CP	14,384	12,634	-1,749
その他	9,008	8,090	-917
固定負債・準備金	7,882	7,166	-715
負債合計	111,431	107,590	-3,841
純資産	5,442	5,884	+442
負債・純資産合計	116,874	113,475	-3,399

(単位：億円)	17年3月末	17年12月末	前期末比増減
基本的項目	4,961	5,290	+329
補完的項目	1,179	1,242	+63
控除資産	1,586	1,603	+16
固定化されていない自己資本	4,554	4,930	+376
リスク相当額	1,376	1,519	+142
市場リスク	571	655	+84
取引先リスク	213	215	+2
基礎的リスク	592	647	+55
自己資本規制比率	331%	325%	-6pt

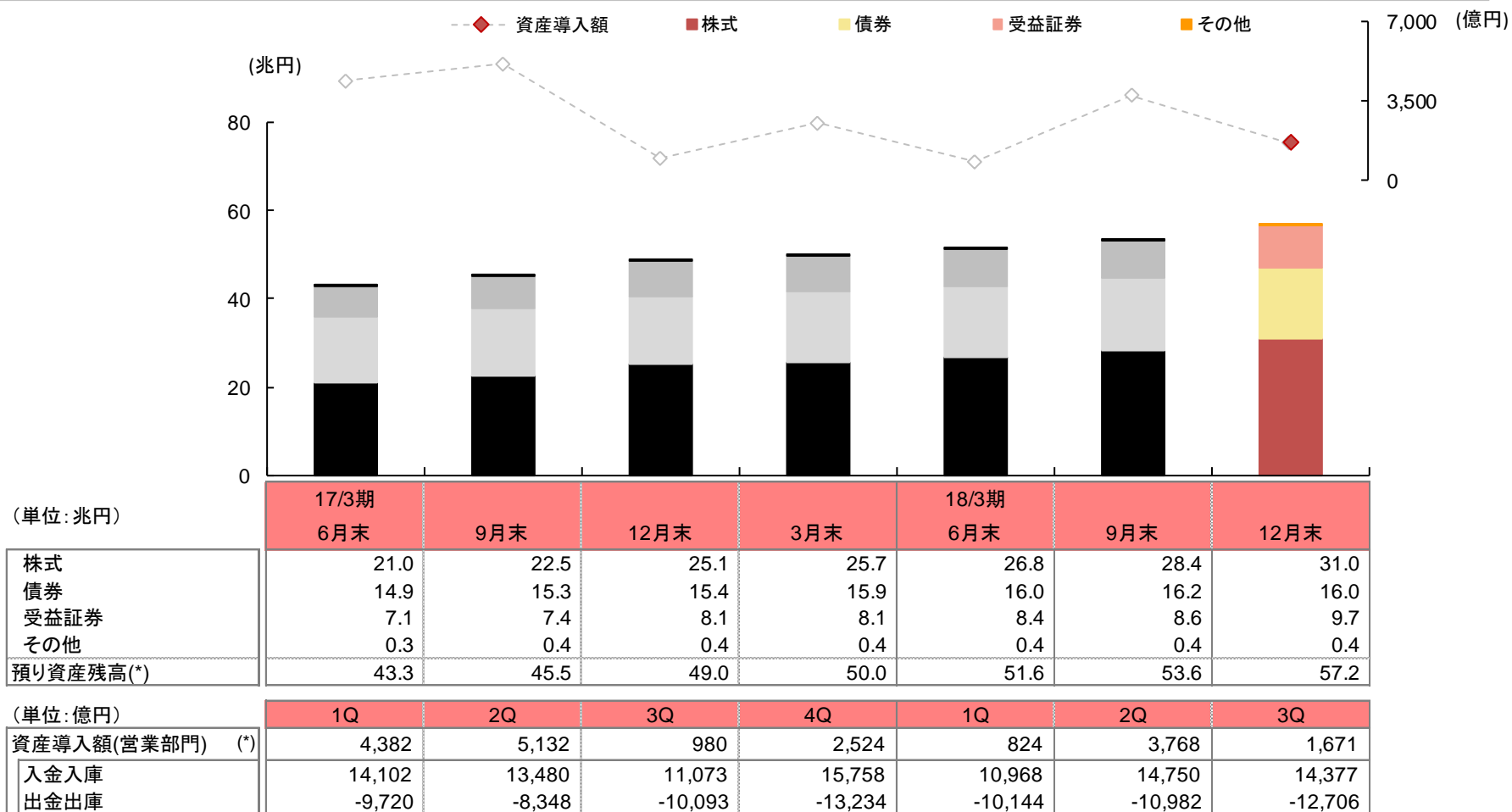
長期格付 (2018年1月30日現在)

【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1 [安定的]	A [安定的]	AA- [安定的]	AA [安定的]

預り資産残高・資産導入額

- ◇ 2017年12月末の預り資産残高は57.2兆円(前四半期比+7%)
- ◇ 第3四半期の営業部門の資産導入額は1,671億円

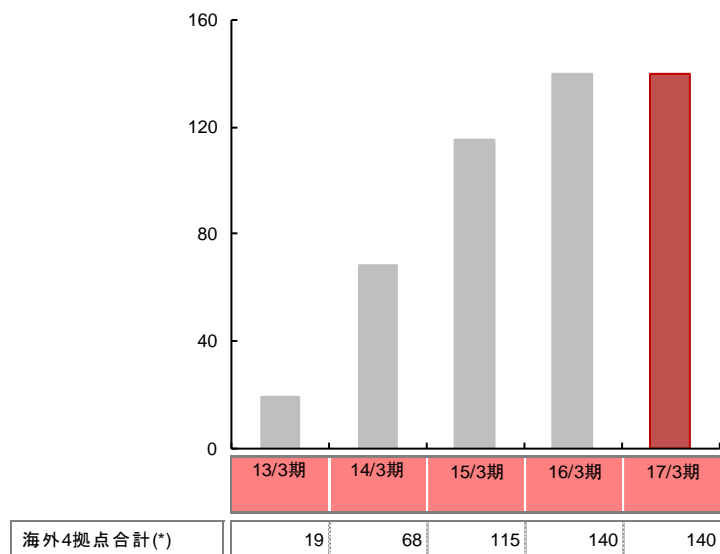


(*) 第2四半期より、集計範囲の一部に誤り等があった2017年3月期1Q~2018年3月期1Qの資産導入額を修正しております

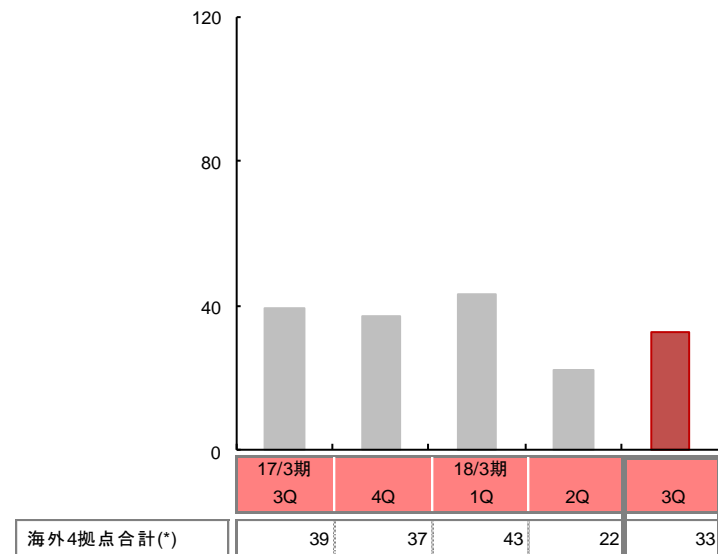
海外拠点の業績推移

- ◇ 第3四半期の収支(内部管理ベース)は33億円(前四半期比+46%)
- ◇ 国内外の発行体による海外資金調達の増減に影響を受けるが、収支(内部管理ベース)は堅調に推移

収支(内部管理ベース) 年度推移 (億円)



収支(内部管理ベース) 四半期推移 (億円)



(*) 海外4拠点合計は、下記の合計値

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の収支
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社(議決権比率:当社20.00%、SMBC Financial Services, Inc.(三井住友銀行子会社)80.00%)の収支



提携先(アジア)

- KB証券(本社:ソウル)**
 - M&Aアドバイザー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携
- ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)**
 - M&Aアドバイザー業務及びDCM業務を中心とした業務提携
- ベトロベトナム証券(本社:ハノイ)**
 - 海外進出支援等を中心とした業務提携
- ファトラ証券(本社:バンコク)**
 - M&Aアドバイザー及びDCM/ECM業務における提携
- コタック・マヒンドラ・グループ(本社:ムンバイ)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

- シティグループ(本社:ニューヨーク)**
 - 多様な分野でワールドワイドに業務協働
- モーリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携
- BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)**
 - M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

100周年

当社は1918年7月7日に川島屋商店として創業し、本年で創業100周年を迎えます。このような大きな節目を迎えられるのは、多くのお客さまからご支持いただいたおかげです。お客さまへの感謝の想いを胸に、「いっしょに、明日のこと。」のブランドスローガンのもと、これからもお客さまを第一に考え、時代のニーズに応えながら、お客さまといっしょに新しい100年をつくってまいります。



AI(人工知能)、ビッグデータを活用した取り組み

■ 逆日歩予報

ビッグデータ分析の技術を駆使して、逆日歩の発生確率と金額情報を月に一度予報いたします。信用取引を行うお客さまの売買タイミングの判断材料にご利用いただけます。情報はお取引当日にご登録いただいたEメールアドレスにお送りします。来年度上期以降に正式版をリリース予定です。

■ AI株価トレンド予報

AIが、ニュースやプレリリースといった膨大な情報の中から、短期的で株価にインパクトがあると予想される情報を選別します。その情報を基に、複数のアナリストが今後の株価トレンドを予想し、投票いたします。予想結果をご登録いただいたEメールアドレスにお知らせいたします。来年度上期以降に正式版をリリース予定です。

■ 通話音声のテキスト化

社内コンプライアンスの向上と、業務効率化を通じた全社的な「働き方改革」の実現を目的に、株式会社ネクストジェンが提供する音声認識BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービス「U³ COGNI(ユーキューブ コグニ)」により通話音声をテキスト化するAIシステムを本年3月末までに導入いたします。

SMBCフレンド証券との合併について

当社は本年1月1日付で、SMBCフレンド証券と合併し、新たなスタートを切りました。新しいSMBC日興証券は、三井住友フィナンシャルグループの総合証券会社として、SMBC日興及びSMBCフレンドそれぞれの強みを相互活用しつつ、お客さまに、より充実した証券サービスを提供してまいります。



【ポスターデザインのコンセプト】

当社とSMBCフレンド証券のそれぞれのコーポレートカラーである赤とフレッシュグリーンを使用し、同じ道に向かい、ふたつがひとつになって前進・上昇するかたちで、合併を表現しています。

スポーツ活動への取り組み

■ 「平成29年度 東京都スポーツ推進企業」に認定

当社は、社員のスポーツ活動を推進する取り組みや、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業を認定する「平成29年度 東京都スポーツ推進企業認定制度」において、「東京都スポーツ推進企業」に認定されました。



■ 「平成29年度 スポーツエールカンパニー」に認定

当社は、役社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業として、スポーツ庁より「平成29年度 スポーツエールカンパニー」に認定されました。



参考資料



四半期損益推移 (連結)

(単位:百万円)	17年3月期				18年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業収益	81,013	82,070	87,298	110,849	91,483	91,543	109,773
受入手数料	35,335	42,582	40,261	58,983	41,726	43,495	56,257
委託手数料	7,390	6,753	10,167	9,136	9,165	8,821	12,822
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	7,518	12,182	6,237	18,061	5,659	6,820	10,180
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	7,529	9,192	8,854	14,687	10,656	10,304	12,948
その他の受入手数料	12,898	14,452	15,002	17,098	16,243	17,549	20,306
トレーディング損益	36,757	27,294	35,706	35,621	38,008	34,770	40,493
株券等	4,313	161	5,756	6,741	8,568	5,569	13,506
債券等・その他	32,444	27,132	29,950	28,880	29,439	29,200	26,987
金融収益	5,385	8,511	7,633	10,731	9,600	10,988	10,669
売上高	3,534	3,683	3,696	5,512	2,148	2,288	2,352
金融費用	4,653	4,101	6,269	6,506	7,462	6,769	10,025
売上原価	2,674	2,547	2,943	4,767	1,856	2,057	2,090
純営業収益	73,685	75,422	78,085	99,576	82,164	82,716	97,657
販売費・一般管理費	58,814	60,720	61,599	69,830	62,353	62,418	68,254
営業利益	14,870	14,701	16,485	29,745	19,811	20,297	29,402
経常利益	15,750	15,750	17,195	31,368	20,960	20,938	30,531
特別損益	-497	298	-11,277	-2,103	-372	-517	-931
税金等調整前当期純利益	15,252	16,049	5,917	29,265	20,587	20,420	29,599
法人税等	4,499	4,760	1,632	8,635	6,093	6,054	8,918
当期純利益	10,753	11,289	4,285	20,630	14,493	14,365	20,681
親会社株主に帰属する当期純利益	10,750	11,281	4,279	20,631	14,491	14,365	20,677

四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位:百万円)	17年3月期				18年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業収益	75,119	75,977	80,448	102,913	86,651	86,282	104,225
受入手数料	33,132	40,334	37,326	56,737	39,243	40,737	53,276
委託手数料	6,679	6,081	9,155	8,606	8,449	8,149	12,055
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	7,518	12,182	6,237	18,061	5,659	6,820	10,180
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	7,459	9,178	8,834	14,633	10,594	10,281	12,925
その他の受入手数料	11,475	12,892	13,098	15,435	14,540	15,485	18,114
トレーディング損益	36,757	27,294	35,706	35,619	38,006	34,770	40,492
株券等	4,313	161	5,756	6,741	8,568	5,569	13,506
債券等・その他	32,444	27,132	29,950	28,878	29,437	29,200	26,985
金融収益	5,228	8,349	7,416	10,556	9,401	10,773	10,456
金融費用	4,535	3,987	6,123	6,342	7,315	6,609	9,856
純営業収益	70,584	71,990	74,325	96,570	79,336	79,672	94,368
販売費・一般管理費	57,762	59,099	59,207	68,349	61,189	60,978	65,815
営業利益	12,821	12,890	15,118	28,221	18,146	18,693	28,552
経常利益	13,097	13,402	15,115	28,937	18,348	19,228	28,764
特別損益	-500	302	-11,277	-1,926	-372	-517	-943
税引前当期純利益	12,596	13,704	3,837	27,010	17,975	18,710	27,821
法人税等	3,887	4,234	1,209	8,384	5,460	5,676	8,571
当期純利益	8,709	9,470	2,628	18,625	12,515	13,034	19,249

◇主要商品販売額 (単位:億円)	17年3月期				18年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
投資信託	5,619	5,832	5,606	6,479	5,507	5,660	6,613
(株式投資信託)	(3,928)	(4,713)	(4,200)	(5,124)	(4,537)	(4,620)	(5,420)
(外国籍投資信託)	(684)	(805)	(745)	(1,083)	(711)	(883)	(1,028)
ファンドラップ	748	931	921	849	1,056	1,024	1,369
外債(*1)	6,570	6,388	6,904	7,948	7,873	7,252	7,358
(外貨建て債券)	(2,140)	(2,198)	(2,399)	(2,022)	(2,212)	(2,566)	(1,534)
国内債	10,218	13,578	7,948	10,941	10,416	7,739	9,917
(個人向け国債)	(1,320)	(1,844)	(1,783)	(3,494)	(1,291)	(1,750)	(1,327)
株式募集	511	1,175	888	2,380	358	1,566	1,195
年金・保険商品	100	43	116	89	85	166	242
主要商品販売額合計(*2)	23,765	27,949	22,384	28,687	25,295	23,406	26,693

(*1) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

(*2) 2018年3月期第1四半期より、ファンドラップ販売額を商品販売額へ含めて集計

◇マーケットシェア	17年3月期				18年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
株券引受 グローバル株式(*1)	19.9%	19.3%	18.6%	19.0%	9.9%	6.2%	8.6%
債券引受 円債総合(*2)	20.4%	18.2%	16.8%	17.2%	19.5%	16.1%	16.9%
M&A 日本企業関連(*3)	6.7%	14.7%	15.0%	14.3%	14.8%	9.1%	9.1%

(*1) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー

(*2) 円債総合・主幹事

(*3) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア)

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERS

◇ダイレクトチャネル比率 (*1)

	17年3月期				18年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
約定件数ベース	92.9%	92.4%	91.1%	90.9%	92.2%	91.1%	90.7%
(日興イーजीトレード)	(89.0%)	(88.8%)	(86.5%)	(86.7%)	(88.1%)	(87.1%)	(86.2%)
手数料ベース	38.0%	28.3%	33.5%	24.9%	26.7%	24.4%	27.6%
(日興イーजीトレード)	(26.2%)	(19.8%)	(22.6%)	(17.0%)	(17.7%)	(16.1%)	(17.8%)

(*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引(委託売買、募集)に占める対面以外の比率。

◇売買代金・手数料率 (*2)

(単位: 億円)	17年3月期				18年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
株式委託売買代金	61,785	62,264	71,979	69,522	72,959	73,541	92,427
株式委託手数料(*3)	66	63	94	87	86	85	124
単純平均委託手数料率	9.4bp	8.9bp	11.5bp	11.1bp	10.8bp	10.6bp	12.3bp

(*2) 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*3) 連結ベース

◇口座数

【SMBC日興証券単体】

(単位:千口座)	17年3月期				18年3月期		
	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12
総口座数	2,739	2,759	2,775	2,801	2,813	2,829	2,838
証券総合口座数	2,405	2,426	2,446	2,473	2,486	2,500	2,512
新規登録口座数	33	39	37	42	31	30	30

◇店舗数

【SMBC日興証券単体】

	17年3月期				18年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
国内店舗数	123	124	124	124	124	124	123

◇人員数

	17年3月期				18年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
人員数	10,352	10,325	10,198	10,112	10,698	10,559	10,456
海外4拠点人員数	443	457	467	480	491	524	556

(*) 海外4拠点人員数は、下記の合計人員数

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の人員数
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の人員数

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券

100TH
ANNIVERSARY
おかげさまで百周年